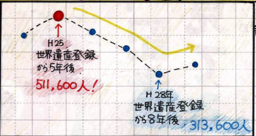
石見銀山観光新聞

~大森の町にはみりょくがたくさん!~

大田西
中学校
1年1組
水野　綾香

銀山観光客、年々減少!?

9月12日総合学習で大森町を訪ねました。石見銀山が世界遺産登録された事もあり、観光客が来るようになったと聞いたので、実際にはどうなのか、様々な方にインタビューをしたり、町を歩いて調べました。



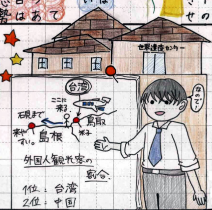
世界遺産登録後、観光客が減少中

上のグラフの通り、石見銀山が世界遺産登録されてから、年々観光客が減っている事が分かります。では一体何故、石見銀山の観光客が減ってきているのでしょうか。「石見銀山世界遺産センター」に行き、観光客が減少している訳を調べる事にしました。石見銀山世界遺産センターには、たくさんの展事物があります。そのため観光客が年中いつでもいるような場所です。世界遺産センターの方にインタビューをさせていただきました。

インタビュータイム

Q. なぜ銀山の観光客は年々少なくなっているのですか。

A. 観光客が少なくなっている原因は主に２つあると言える。１つ目は観光客の受け入れ態勢が不充分で、バスやホテルなどがなく観光客が銀山に来づらい。２つ目は、観光スポットではよくある自然的な減少。１度見て、２度目は来てくれない…というお客さまが多い。この２つの原因が理由で観光客は年々減っている。


世界遺産センター
台湾
ここに来る。
石見まで
来やすい。
島根
鳥取
米子
なので！

外国人観光客の割合。
1位：台湾
2位：中国

Q. 観光客を増やすための工夫は何ですか？

A. さまざまなイベントを企画した。特に人気だった「銀さがし」と、「大久保間歩・VR体験」は年間いつでもできるようにして、いつでも観光に来て下さった人へのおもてなしができるように気をつけている。

ありがとうございました

新たに学んだこと…

世界遺産センターに行ってインタビューさせてもらい、石見銀山の観光事情などもよく分かりました。銀山のみりょくは以外と分かりにくいけど、それでも少しでもいいから銀山のみりょくを知ってもらいたいです。

石見銀山の観光客は減っていますが、その中で外国人観光客の割合が増えていました。これから、観光の取り組みとして、外国人向けのパンフレットを作ったりしてたくさんの人への「おもてなし」をしていく必要があると思いました。

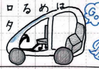
心からのおもてなし

大森の町を歩いていて、最近では「レンタサイクル」や「ベロタクシー」などがある事を知りました。大森では、町に支障が出ないように工夫をしていたり、観光客に楽しんでもらえるように心からおもてなしをしておられました。大森の町で行っている心からのおもてなしを紹介しようと思います。

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

おもてなしその1 ベロタクシー

ベロタクシーの良さは景色をながめながら観光できる事。実際にベロタクシーを求める観光客も多く、年間利用者は500人ぐらいだそうでベロタクシー運転手の福西さんにお話しをうかがうと、「大森の町中を走るため、坂道も多く、とても大変だ。でもベロタクシーを利用して下さるお客様のためにも、頑張ろうと思う…」と言っておられました。

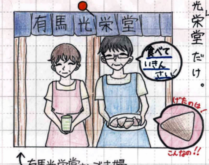


ありがとうございました!

その2 有馬光栄堂

銀山といえば…!

銀山のおみやげと言えば「げたのは」。「げたのは」を売っているのは有馬光栄堂だけ。


有馬光栄堂
食べていきんさい
げたのは!
こんなの!!

↑有馬光栄堂さんご夫婦。

インタビュータイム

Q. このお仕事で、１番やりがいを感じられるのはどんな時ですか？

A. げたのはを求めてお客様がわざわざ店に来て下さる事。

Q. １番心がけている事は何ですか？

A. 年中無休を心がけてやっている。わざわざげたのはを買いに来て下さるお客さんの気持ちに応えたい↓いつでもげたのはが買えるようにしている。

Q. 「げたのは」の人気はどのくらいあるのか？

A. テレビの全国放送で100回以上紹介されるほど。お客様には、銀山らしい「そぼくな味」が人気。保存もきき、けんこう的な食べ物で、地元の人にも大人気。

ありがとうございました。

~これからも、銀山と大森の町を守っていきたい。~

ありがとうございました。

その3 ガイドの会

銀山のみりょくを観光客に説明するガイドの皆さん。銀山のみりょくは難しくて分かりづらい…けど、ガイドさんに付いて歩いてもらうと、分かりやすく説明してもらえました。

インタビュータイム

Q. 観光客におすすめしたい場所は…？

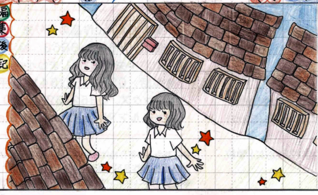
A. 龍源寺間歩コース。２時間ぐらいで行けて、その上龍源寺間歩はガイドがしやすい。

Q. ガイドの仕事をしていて、どんな時にやりがいを感じるんですか？

A. やっぱり、銀山の良さやみりょくを分かってもらえる事！

心からのおもてなし~

今まではお客さん目線からでしか石見銀山の事や大森の町を見ていませんでした。観光目線から見ると、観光客へのおもてなしをたくさんの方がしておられ、すごく感心しました。大森の家は木造でできていて、すごくなつかしくて、なごみました。仕事をしておられる方も、町の人も一体となって「おもてなし」をして下さり、とても良い世界遺産だなぁ…と銀山のみりょくに心を打たれました。



編集後記

総合学習を行って、改めて石見銀山の大切さ、みりょくを知りました。いろいろな人に支えられてきたからこそ、石見銀山が世界遺産に登録されたのだと思います。石見銀山は私達大田市の宝であり、ほこりです。これからもそうあり続けるよう、守っていきたいです。

発行年月日
平成30年9月18日(火)